

夏休みには危険がいっぱい

夏季休業中は開放感から気が緩み、思いがけないトラブルや、事件・事故に巻き込まれかねません。以下の留意事項を踏まえ、節度ある行動に心掛けて生活してください。

1. 合宿・旅行上の注意

- ・クラブ・サークルの合宿や遠征は、所定の様式（学外団体活動許可願）で必ず学務課学生支援部門に事前に申し出てください。
- ・個人の旅行日程、滞在場所、連絡先等は、予め家族や友人に確実に伝えておきましょう。
- ・海外では皆さんを巻き込む犯罪やテロ、地震・津波などの自然災害、また感染症などの様々な危険があり、事前の情報収集と十分な注意、そして保険の加入が絶対に必要です。
- ・海外への旅行等の場合は、報道及び渡航先最寄りの日本国大使館又は総領事館から最新の情報を入手するとともに、外務省が実施している渡航登録サービスへの登録を利用するなど、いかなる国・地域においても安全確保に十分注意しましょう。

※外務省 海外安全情報配信サービス(たびレジ) <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>



2. マルチ商法詐欺への注意

仮想通貨（暗号資産）や海外事業への投資をめぐるマルチ商法について、10～20代からの相談が増加しています。友人やSNSで知り合った人から勧誘され契約したものの、事業者やもうけ話の仕組みの実態が不明なため、解約・返金の交渉が難しいケースが多いとして、国民生活センターが注意を呼びかけています。

マルチ商法への勧誘は、毅然と断りましょう。自らが借金を負い被害者となる場合や、友人や親類との関係が壊れる場合があります。そのような勧誘を受けた方は、すぐ学務課学生支援部門にご相談ください。

※仮想通貨のマルチ商法、SNSで勧誘 若者から相談増加（朝日新聞デジタル）
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190725-00000137-asahi-soci>



3. 海水浴・登山等での注意

「水の事故」で事故が一番多いのが「海」です。そして、いったん事故が起きると、命にかかわる重大事故になる可能性が非常に高いのが、水難の特徴です。海水浴の際は、危険な場所を確認して近づかないようにし、健康状態が悪いときやお酒を飲んだときは泳がないようにしましょう。

「山の遭難」で一番多いのが「登山」によるものです。知識・体力・経験に見合った山選びを行い、登山計画の作成・提出をしましょう。比較的気象条件に恵まれることの多い夏の山でも、山には様々な危険があります。また、標高の高い山だけでなく、低い山でも山岳遭難は発生していますので注意してください。



4. 危険ドラッグ等薬物乱用や未成年の飲酒の厳禁

危険ドラッグ等の薬物への誘いには十分に気をつけ、誘われてもはっきりと断る勇気を持ちましょう。また、未成年の飲酒は法律違反です。『イッキ飲み』や飲酒運転も厳禁です。

飲酒の強要は犯罪です。飲み方によっては体を害し、最悪の場合には死に至ります。『イッキ飲み』をさせた側が、傷害致死で告訴されたり、損害賠償を要求されたりする事例があることを十分に認識してください。



5. SNS利用のマナーとモラルについて注意

ホームページやSNSは不特定多数の人が閲覧できます。ネット上に個人情報を公開することには相応のリスクが伴うことを強く認識してください。また、他人の個人情報を本人の許可なく掲載することは厳に慎んでください。LINEやTwitter、Instagram等のSNSは健全に利用しましょう。



その他、トラブルや事故に巻き込まれた場合は、警察または大学へご連絡ください。

学務課学生支援部門 電話番号:0562-44-1374